

下関商と互角の戦い

玉野高80周年 野球の招待試合

玉野高の創立80周年 民球場であった。甲子園を記念した野球の招待 園で優勝経験もある山を繰り広げた。試合が1日、玉原の市 口・下関商高を相手に



OBや保護者が見守る中、招待試合で熱戦を繰り広げる選手たち

00人が、息詰まる熱戦に声援を送った。78年秋の中国大会に出場したOB会理事の瀬嶋勝己さん(57)＝岡山市南区藤田＝は「下関商(18)＝3年＝は「下関のユニホームは当時と商は投打ともレベルが

1946年創部の玉野高野球部が甲子園にもっとも近づいたのは79年春のセンバツ大会。補欠校となったが、その時の中国地区代表が下関商高だったことから、OB会が中心になって誘致した。

第1試合は一回裏、玉野が安打と死球で無死満塁としたところで相手の失策があり、やすやすと3点を先制。

2年小南大翔投手(16)が完投し、5－2で下関商を振り切った。第2試合も玉野が三回表、暴投に乗じて1点先制したが、九回裏、下関商に連打が出て1－2でサヨナラ負けした。

OBや保護者ら約1